

# 地歴公民(世界史) 同志社 大学 全学部日程 [文系] (2/5実施) 1/2

## <全体分析>

試験時間 75 分

### 解答形式

選択式・記述式(マークシートは使用しない)

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

大問3題, 小問58題(記号42, 記述16)で, 昨年度の同日日程(小問57題)とほぼ同じ。

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

難易度はやや易化。昨年よりリード文がやや短くなっており, 解答時間は十分であろう。

### 出題の特徴や昨年との変更点

同志社大学の典型的な出題形式である, 大きな語群を伴う空所補充問題が出題されなかった。

アジア史1題, 欧米史2題からなる出題であり, 昨年見られた混合問題は出題されなかった。

### その他トピックス

大問IIは, 本年度実施の同志社プレステージ大問IIと重複するテーマであった。

## <大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	記号空所 記号正誤 記号設問 記号整序 記述設問	中国古代史	唐代までの中国の人口変化を軸に, 中国史を中心に関連する事項が問われている。基本的事項が中心だが, 記述式の設問9で問われた(イ)「王莽」(ウ)「顧愷之」(エ)「拓跋」などでは誤字に注意したい。設問3では「波線部(2)の遊牧民」という指示が遊牧民一般を指すのか, 趙と関わった遊牧民に限定するのか判断しづらい。	標準
II	記号空所 記号正誤 記号設問 記号整序 記述空所	9～18世紀のスラヴ人国家	9世紀のノヴゴロド国からエカチェリーナ2世の時代までを扱った問題。設問4では「ウラディミルの聖母」を正答として選ぶ必要があるが, 消去法で正答できる。設問8の整序問題は, ヤゲウォ朝断絶の時期とカルロヴィッツ条約の前後関係が判定できれば正解できるだろう。	標準
III	記号設問 記号正誤 記述空所	帝国主義時代のヨーロッパとユダヤ人	ヨーロッパ諸国の帝国主義と愛国主義の進展にユダヤ人排斥を絡めた問題。「私は弾劾する」の言葉から, その人物の作品として『居酒屋』を問うた設問3(イ)など, 関連事項と結びつけた正確な知識が求められている。設問4(4)の2文組合せ正誤問題では「ラテラノ公会議」の内容として「ユダヤ人に黄色の目印をつける義務」を判定させる問題であり, かなり細かい知識が求められている。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

標準的なレベルの問題が大半であるため、教科書・用語集をベースにした学習を進めるのがよいだろう。正誤問題では消去法が使えない2文組合せ形式の出題が多く、正確な知識を持つことはもちろん、誤りの箇所を見逃さないように注意深く問題をといてゆく姿勢が肝要であろう。試験時間は長めではあるが、長大なリード文が示されたり複雑な形式の出題が行われることもあるので、受験に際しては時間配分にも注意したい。解答欄の指示も煩雑であり、解答の記入ミスなどにも注意したい。記述式の問題では漢字の誤りに気をつけることは当然であるが、「ア」と「マ」や「ツ」と「シ」等のカタカナの書き分けにも注意する必要がある。